

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 海津特別支援学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年10月28日(木) 13:15~15:15
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会長	水谷 芳郎	有限会社吉野屋 代表取締役
副会長	児玉 泉	民生委員(主任児童委員)
委員	高岡 由香	障がい者センター あいさんハウスぎふ施設長
	大橋恵美子	共同生活援助 れんげの家 所長
	細井 豊年	海津市平田町今尾地区 前区長
	飯田かゆ美	海津市更生保護女性会 会長
	佐藤沙奈恵	海津特別支援学校 PTA会長
学校側	各務 美保	校長
	神谷佳代子	教頭
	武藤小百合	事務長
	栞原 正美	小学部主事
	馬淵 陽子	中学部主事
	山田 理嗣	高等部主事
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 授業参観
 - (2) 前期の学校運営について
 - ① これまでの学校の様子と取組
 - ② コロナウイルス感染症予防対策
 - ③ 今後の地域との連携(学校開放等)
 - ④ 学校課題(通学路、敷地内の除草、災害用トイレの設置、在籍者数の推移、樹木の伐採)

意見1: 授業を見て、コロナウイルス感染症予防のための様々な制約の中でも児童生徒は伸び伸びと授業を受けていた。高等部の校内作業実習では、80分作業して20分休憩、また80分の作業など大変な作業に一生懸命取り組んでいることに感心した。

意見2: 子どもたちが落ち着いて活動している。職員も落ち着いている。コロナ禍では、職員の感染が子どもたちへの感染につながる。これからも感染予防を徹底し、健康を保っていくことが大切である。校内作業実習では、2週間の作業でやる部品がなくなってしまうことがある。本校ではそういったことがないということは、会社の方が、海津特別支援学校の生徒の実習のためにその部品をためておいていただいたということで、地域と学校との関わりの良さを感じる。

コロナ禍で、外に出かけられない中で、先生たちがiPadや電子黒板などの活用等工

夫し、児童生徒の活動を広げていることが分かった。

意見3：落ち着いた授業が展開されている。高等部の作業実習では、丁寧に落ち着いて作業している姿が印象的であった。80分続けて作業しているのが素晴らしい。小学部の音楽では、一人一人にあった指導の体制づくりが行われている。

コロナウイルス感染症が広がる前は、ボランティアとして作業学習と一緒に活動していた。早くまた一緒に活動できるように望んでいる。また、毎年寄せ植えの注文もしている。コロナ禍で販売活動が中止となっているが、ぜひ、外部からの注文を受けてもらえるとありがたい。

意見4：個人個人に合わせて先生方がかかわっていることがよくわかる。小学部1年生の音楽では、入学して様々な制約のある学校生活であったと思うが、先生方の配慮でとても落ち着いて活動していることに感心した。

学校の草刈りが大変な状況であることが分かり、PTA活動として除草作業を入れていきたい。

意見5：本校のたくさんの児童生徒が、放課後デイを利用している。利用している児童生徒が学校生活で落ち着いて取り組んでいることがうれしかった。学校の協力の下、本施設でも感染者は今のところ出ていないが、感染者を出さないよう、今後も連携していきたい。

コロナ禍で、児童生徒が成長している。何を学ばせるのかを先生方が考え、年齢に応じて対応している。美術でも様々な工夫がされ、楽しみ、イメージをもつことで豊かな絵が描かれている。

目標をもって自立のために何が大切か考え、できることを磨き、働く意欲を育ててほしい。校内作業実習では、様々な道具を使って仕事をしていた。そつなく、効率よく、安全に仕事ができるように配置等を工夫していた。こういった学校生活を通して、次に向かう（卒業後の生活）準備をしてほしい。

意見6：何年かこの学校の様子を見ているが、一人一人の成長がよくわかる。職場での人とコミュニケーションがとれるかどうかが大切だと思う。作業は作業学習の中で教えればよいが、どのように人と接するかは、日常生活の中で教えてほしい。

⇒ 現場実習が、一つの採用試験。しっかり取り組めるように普段の生活の中で力をつけていきたい。

意見7：コロナ禍で学校も大変だったと思う。教育の現場で様々な配慮が必要だであったと思うが、先生方の工夫でこれまで感染者もなく過ごされていると思う。こういった学校が地域にあるということを自慢にしたい。そのために学校には情報発信をお願いしたい。先日金融機関に行ったところ、この学校の児童生徒の作品等が並んでいた。

こういったところを地域とのコミュニケーションの場としてもよいので、地域の中の支援学校という発信をしてほしい。

(2) グラウンド開放について

質問1：アスベスト等の関係でグラウンドのトイレの撤去が行われると伺ったが、鉄柱事故の関係でネット等も撤去されるのか。

⇒ ネットの撤去はない。

意見1：トイレ等は、学校開放ではほぼ使用していないので、撤去してもよい。ただ、トイレに併設されている器具庫を借りている。できればラインマーカー等を入れる器具庫を貸してほしい。

草の処理に困っているテニスコートは、駐車場にしてはどうか。

質問2：テニスコートはテニスコートとして使用できないか。

⇒ テニスコートの地面が老朽化しており、コートとして使用できないことと、コート

のラインとなっているテープもはがれてしまっていることから、テニスコートとしては、活用は難しい。

(3) 作業製品販売価格について

○陶芸製品プランター価格の訂正について

⇒ 全員の承認が得られた。

6 会議のまとめ

委員1名の欠席があった。第2回学校運営協議会では、前期の学校運営や課題、作業製品販売価格について承認が得られた。